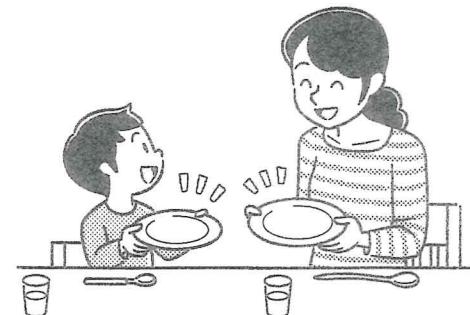


たのしくたべようニュース

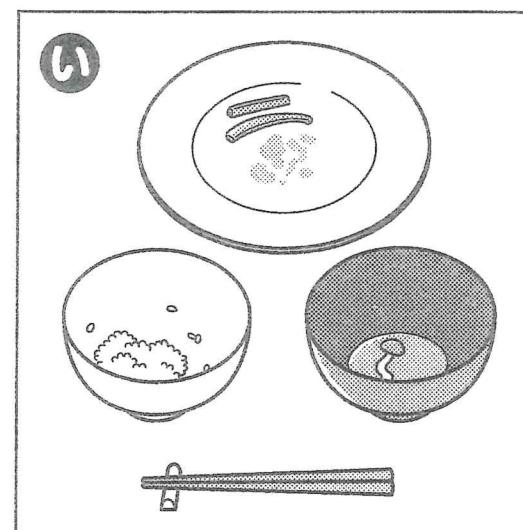
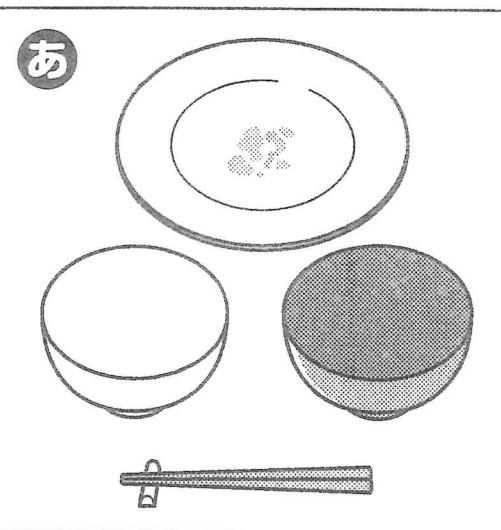
もったいないの気持ちを大切に

「もったいない」という言葉は、ものを大切にする気持ちのあらわれです。食べ物を無駄にしてはいけないと思うのも、「もったいない」のひとつです。

10月は食品ロス削減月間です。「もったいない」の気持ちを大切に、家庭での食品ロスの削減に取り組んでみてください。



ごちそうさま もったいのは どっちかな？



こたえ い

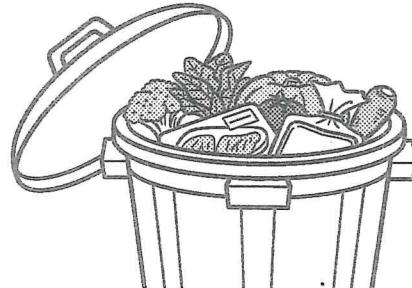
にんじんと ピーマンと
ごはんと しめじが
のこって いるよ



食べられるのに捨てられる「食品ロス」

2020年度の食品ロス量は、新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、推計を開始した2012年度以降、最少の522万トンでした。

食品ロスの約47%は家庭から出ており、発生要因は「食べ残し」や「手つかずの食品」、「皮のむき過ぎ」などです。まずは家庭から食品ロスを減らしていくことが大切です。

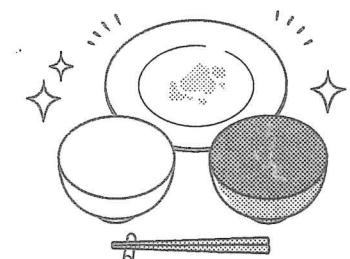


出典 農林水産省・環境省「食品ロス量(令和2年度推計値)」

できることから取り組んでみませんか

買い過ぎない つくり過ぎない 食事を残さない

買い物前に家にある食材をチェックして、使う量だけを買いましょう。



子どもが「残さず食べられた」と思える工夫を



子どもの食欲がない時は、食器にふだんの半分くらいの量を盛りつけ、食べたらおかわりをするようにすると、子どもが「残さず食べられた」という意識を持つことができます。また、食事の時に空腹になるように、間食をとり過ぎないようにして、食事の前にジュースなどの飲み物は控えるようにしてください。